

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

ゆらゆらぱーく～まちやみちをあそび場に変える小さな仕掛け～

〈提案の趣旨〉

○コンセプト

仕掛けにより人々が自主的な遊び・憩う場を街に創る。

○設計趣旨

・移動するだけになってしまっている広い道幅に単管パイプを用いた小さな仕掛けで滞留空間をもたらします。

・単管パイプを用いた仮設的な仕掛けにハンモックがかかることで、都市の中で揺れながら寝るといった非日常的な体験を生みます。

・色とりどりの布で構成される屋根が日差しを遮り、街に足りない日陰の休める場所をもたらし、人々の新しい居場所となります。

・色がついた半透明な布がはためき、それを通して見ることで都市に色をもたらす新しい体験を生み出します。

① 地域性

車道と駐車場が駅の周辺に多く配置され、車中心の街づくりであることが見受けられたが、広い歩道も多くあることがこの街のポテンシャルと考えます。人の通行空間である道を、滞留空間にする仕掛けを設けることで広い道幅を生かした滞留空間を提案します。

② 独創性

単管パイプで仮設的な構造体を作り、アタッチメントによって機能を変化させることで、自由な振る舞いを包容する空間を生みます。さらに、色とりどりの布がなびく屋根により、道や広場に日陰が落ちて市民の要望を叶える居場所となる上に、コンクリートの無機質な街並みに色どりを加えます。

③ 実現可能性

2m×1.5mのフレームを組み、それを繋げる構成にすることで成人3人での施工を可能にしています。フレームは軽トラックでの搬出入が可能な寸法であるため、中・長距離の移動も可能としました。

柏で9月に行われたイベントにて5つのボックスを10万円前後で実装しており、再現性や安全性も実証しているため短期間での実現が可能です。

④ 加速性

この提案が実現されることで、日常的に人が道に溢れて、複数人での会話や一人時間を楽しむなど自由な振る舞いをパブリックスペースにて行うようになり、市民が街をつかうリテラシーの向上になります。また、広場などでイベントが開催される時に、本提案のボックスを使うことで、常にデザインされた仮設什器での開催を可能とし、eスポーツやBリーグの試合やライブをより盛り上げて街の活性化につながります。